別添資料5

# 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：　2023年　4月　1日　　事業所名　いんくるーじょん

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | | 児発と放デイ利用の時間を分けて、危険がない様に努めている。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | 3 | 完全なバリアフリーにはなっていないが、段差を埋めたり、躓かないように配慮している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 7 | | | 自閉症の方には完全なる個室が構造上ないので、仕切りなどで集中できるスペースが必要。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 7 | | 毎月の会議で、目標をは発表し、進捗状況を共有している | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | 毎年、2月にアンケートを配布。評価をしていただいている。 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | | 行っている。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 7 | 外部評価は行っていない。今後は第三者評価の体制を検討する。 | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7 | | 研修計画に基づき行っている。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 7 | | | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 7 | | 大阪府のアセスメントシートを使用。 | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 6 | 1 | 個別にご家族の支援は行っているが、コロナ禍において、集まる機会が取れなかった。今後は情勢を鑑みイベントを企画予定 | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 7 | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | | | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | 7 | | | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | 個別支援会議で情報を共有している | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 7 | | 朝礼を毎日開催。<br>情報共有を行っている。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | アプリにて提供記録を作成している。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | | 基本的には管理者が参加している。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 7 | | 東淀川区、淀川区、相談支援事業所など定期的にサビ担を行っている。 | |
| | 23 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）<br>地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | 7 | 医的ケア児、重心児の通所なし。通所予定があれば、主治医等と連携を図って行く | |
| | 24 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | 7 | 医的ケア児、重心児の通所なし。通所予定があれば、主治医等と連携を図って行く | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 7 | | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 7 | コロナ禍において実施できていない。今後は情勢を鑑みて機会を設ける | |
| | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 7 | | 毎月子供支援部会に参加 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | | | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている | 5 | 2 | コロナ禍において一同に集まる機会は泣く、個別に行っている。今後は情勢を見てイベント等を行う予定 | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7 | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 1 | 送迎時に行っているが、保育園や幼稚園へ送る場合は十分でない可能性がある | コロナ禍でここ2年間で来ていなかったが、情勢をみてイベント開催等を行っていく。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 7 | | コロナ禍でここ2年間で来ていなかったが、情勢をみてイベント開催等を行っていく。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | 基本は当日、遅くとも次日までには第一次対応。その後も迅速に行なっている。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | | 毎月機関紙の発行を行い、土曜イベント等の周知を行ってい | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 7 | | 鍵付き書庫の使用 | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | ルビ版、拡大版の重要事項説明書を用意している | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 7 | コロナ禍でここ2年間で来ていなかったが、今年度は年3回を開催予定 | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 7 | | 地震訓練等大きなテレビでわかりやすいように周知、訓練を定期的に行っている | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | | 上記同様 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 7 | | アセスメント項目に入れており抜けがないようにマニュアル化している | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | | アセスメント項目に入れており抜けがないようにマニュアル化している | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | | 12月の虐待防止研修の資料を使用し、1月に毎年研修を開催。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 7 | | | |

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。